



大学院だより

大学院修了式

2023年3月15日、大学院修了式が、血脇ホールにて学部128期生の卒業証書授与式と合同で行われました。新型コロナウイルス感染流行の煽りを受けて、2020年、2021年は中止、昨年は本館12階における大学院生だけの縮小開催を余儀なくされていたので、実に4年ぶりの合同開催になりました。学部生やその父兄の方々に、大学院修了者の勇姿を見ていただくことができました。修了者の1名ずつの呼名により入場し、一戸達也学長の式辞の後、36名の修了者の代表としてパーシャルデンチャー補綴学講座の小林裕大学院生に齋藤淳大学院研究科長から修了証が授与されました。その後、新館8階に移動し、一人ひとりに修了証が授与されました。また、大学院研究科長賞がパーシャルデンチャー補綴学講座の小林裕大学院生に齋藤淳大学院研究科長から授与され、同窓会長賞がパーシャルデンチャー補綴学講座の小林裕大学院生と保存修復学講座の宮吉美仁大学院生に澁谷國男同窓会長から、授与されました。



パーシャルデンチャー補綴学講座の小林裕大学院生に齋藤淳大学院研究科長から修了証が授与



4年ぶりに血脇ホールにて学部128期生の卒業証書授与式と合同開催

大学院研究科長賞

本年の大学院研究科長賞は、パーシャルデンチャー補綴学講座の小林裕大学院生が受賞し、齋藤淳大学院研究科長から記念メダルが授与されました。

- ・小林 裕 大学院生の受賞テーマ

Influence of molding angle on the trueness and defects of removable partial denture frameworks fabricated by selective laser melting.

同窓会長賞

毎年恒例の同窓会長は、パーシャルデンチャー補綴学講座の小林裕大学院生と保存修復学講座の宮吉美仁大学院生が受賞し、澁谷國男同窓会長から、賞状と金一封が授与されました。

- ・小林 裕 大学院生の受賞テーマ 同上
- ・宮吉 美仁 大学院生の受賞テーマ

Application of enamel binding peptide, WGNAYK, promotes remineralization of enamel subsurface demineralization *in vitro*.

大学院修了にあたって

パーシャルデンチャー補綴学講座 小林 裕

この度、晴れて大学院を修了することとなりました。おそらくこれが人生において最後の学生生活であろうかと思うと、一際感慨深いものがあります。「視野が広く国際的に活躍できる歯科医師になりたい」と東京歯科大学の学士編入試験の面接において宣言したことがもう10年ほど前の出来事だと思うと、私の周りだけ時間の進みが速いのではないかと思えるほどです。

私の大学院における主な研究テーマは、「金属積層造形(SLM)によって製作する局部床義歯フレームワークの最適な造形条件を検証すること」でした。所属講座の山下教授、田坂准教授のご指導の下、SLMの造形角度が局部床義歯フレームワークに及ぼす影響について研究を行い、SLMの造形角度は、局部床義歯フレームワークの形状真度、内部欠陥および表面粗さに影響を及ぼすことが明らかになりました。この研究の成果は大学院2年次に学術的に定評の高い国際誌である Journal of Prosthodontic Research に公表されました。

3年次には、学位論文審査に合格後、2022年7月から2023年3月までドイツのハイデルベルク大学附属病院補綴科にて Rammelsberg 教授の下 guest researcher として3Dプリンターを用いたジルコニア人工歯の研究を進める機会を頂きました。ハイデルベルク大学では研究の他、ドイツにおける歯科治療や歯科医学教育の見学を行い、多くの貴重な経験をしました。様々な価値観を持つ方々と英語とドイツ語を駆使してディスカッションをし、時にはビールを水のように飲む同僚とジョッキを片手に語り合った日々は、今後の私の人生を大きく左右する経験であったと思っています。

歯学部編入学時から一貫して思い描いてきた目標を実現するために、多くの先生方に支えて頂きました。今後は東京歯科大学にて継続して研究活動を行うとともに、教育や臨床においても研鑽を続け、「視野が広く国際的に活躍できる歯科医師」となれるよう、より一層努力したいと考えています。

最後になりましたが、大学院修了に際して大学院研究科長賞および同窓会長賞を受賞したことを大変光栄に思います。ドイツ留学中に他界した父の墓前にてこれ以上ない報告をすることが出来ました。親身に学位論文その他のご指導をいただきました所属講座の山下教授、田坂准教授、ドイツ留学をご許可いただきました井出理事長、一戸学長、齋藤大学院研究科長、ならびに東京歯科大学編入学時より今日までお世話になった多くの先生方、関係各位に、心より感謝申し上げます。



大学院修了にあたって

保存修復学講座 宮吉 美仁

大学院生活が終わり、無事に修了することが出来ました。最初は自分がどのような研究をするのか全く想像が付きませんでした。振り返ってみると本当にあっという間の4年間で自分の人生の中でとても貴重な充実した時間となりました。研究、臨床、教育はもちろん社会人としてのマナーも大学院生活において学べたことは非常に良かったと感じています。

私が所属する保存修復学講座では、「歯科材料」「齶蝕」「歯髄」の研究を掲げ、保存修復治療に関わる「歯髄保護」につながる研究課題に取り組んでいます。私の研究テーマはその基盤となる歯質の脱灰・再石灰化に関するもので、具体的にはエナメル質結合性ペプチド WGNAYK の *in vitro* におけるエナメル質表面下脱灰に対する再石灰化効果について検討を行って参りました。

最初は当講座の先生の研究の手伝いをさせていただき、研究がどのようなものなのかを学びました。自分の研究の方向性が決まってきた時に、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い研究が思うように進められない時期もありましたが、その間論文検索や研究計画の見直しをすることで研究の質を向上させることができたと考えております。

研究以外にも臨床や教育にも積極的に取り組み、大学院3年時に日本歯科保存学会の認定医の資格を取得することが出来ました。次は専門医の取得を目指してより多くの症例の検討をしていきたいと思っております。学会はほとんどオンラインでしたが保存学会ではポスター発表を行い、また、他大学の様々な研究成果を知ることができてとても良い刺激になりました。

教育面でも TA として5年生の登院実習や3年生の臨床基礎実習において、学生がしつかりと理解しやすくなるような指導を心掛けました。

このような大学院4年間の活動を評価していただき、大変名誉な同窓会長賞を受賞することができて大変誇らしく思います。熱心に御指導をいただいた村松教授を始めとする講座の先生方、サポートしていただいた方々には本当に感謝しております。今後はこの大学院生活で得た経験を生かして、より患者に貢献できる歯科医師になれるよう努めていく所存でございます。最後になりますが、これまで御指導してくださいました先生方、大学院職員の皆様に厚く御礼を申し上げます。



恩師と共に



新館 8 階に移動し、一人ひとりに修了証が授与



36名の修了者、澁谷國男同窓会長、大学院関係者一同



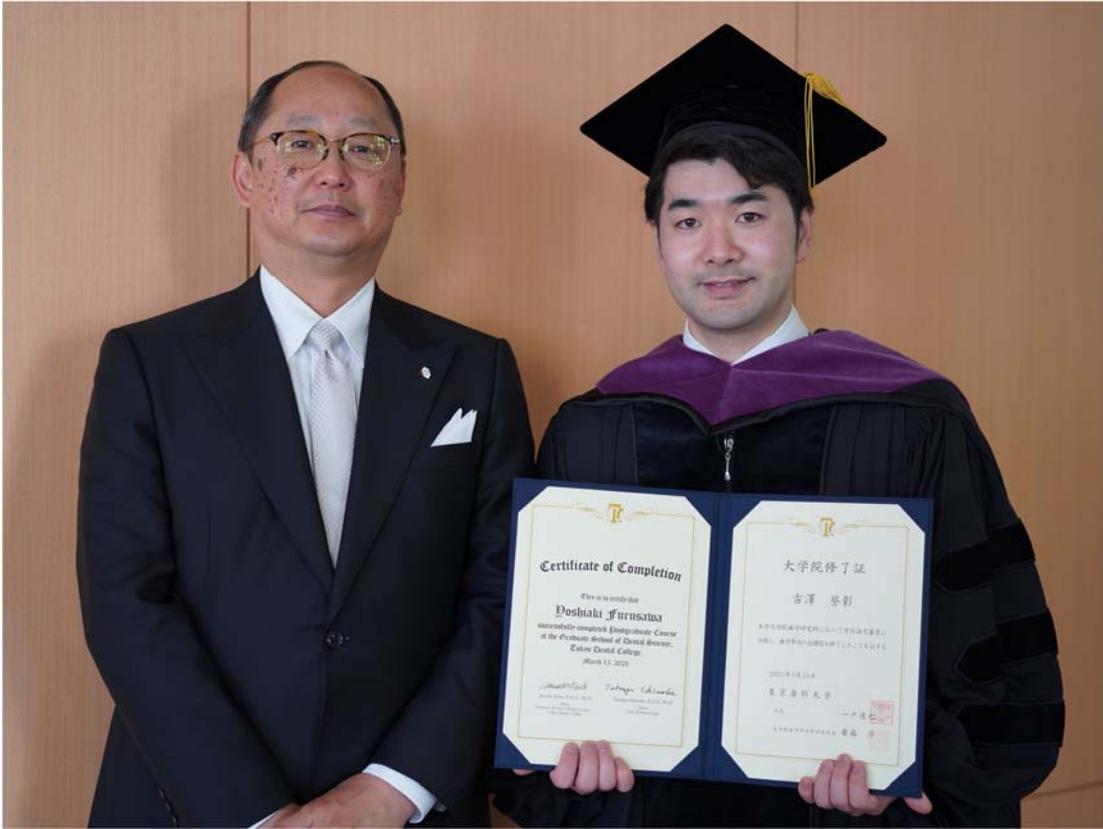
修了証を手に喜びを分かち合う修了者の面々



恩師とともに修了者の面々



恩師と共に



恩師と共



修了証を手に喜びを分かち合う修了者の面々



友人たちと共に



128 期生の卒業証書授与式と合同開催

学位論文題名一覧(2022 年度)

	学位記番号	氏名	学位論文題名
1	2414 号 (甲 1575 号)	金 平 智恵美	Tendinous annulus of Zinn for a common origin of the extraocular recti: A histological study of the orbital apex from donated elderly cadavers
2	2415 号 (甲 1576 号)	高 木 貴 浩	Morphological and functional changes occurring in the upper lip after maxillary anterior teeth loss
3	2416 号 (甲 1577 号)	駒 田 朋 昭	Periodontal ligament derived cells are involved in the formation of intracanal cementum-like tissue after regenerative endodontic procedures: a mouse <i>in situ</i> model.
4	2417 号 (甲 1578 号)	雨 宮 妃香莉	Effects of Myostatin on the Development of the Myotendinous junction
5	2418 号 (甲 1579 号)	渡 部 友 莉	Relationship between submental superficial layer hardness and tongue pressure determined using a tissue duromete
6	2419 号 (甲 1580 号)	宮 吉 美 仁	Application of enamel binding peptide, WGNYYK, promotes remineralization of enamel subsurface demineralization <i>in vitro</i> .
7	2420 号 (甲 1581 号)	山 崎 雅 恵	Rac1 activation in oral squamous cell carcinoma as a predictive factor associated with lymph node metastasis
8	2421 号 (甲 1582 号)	島 津 幸 平	Effects of remimazolam anesthesia with or without remifentanil on oral tissue blood flow and oxygen tension
9	2422 号 (甲 1583 号)	辻 優 人	Effect of remimazolam and propofol anesthesia on autonomic nerve activities during Le Fort I osteotomy under general anesthesia.
10	2423 号 (甲 1584 号)	江 澤 奈 穂	Effects of a tricalcium silicate nanoparticle-containing cement to the periodontal ligament on the perforated floor of

	学位記番号	氏名	学位論文題名
			the pulp chamber model: <i>in vitro</i> and <i>in vivo</i> studies.
11	2424 号 (甲 1585 号)	和田大岳	Perception of sweet taste in older adults: differences in time-intensity sensory profiles for glucose between older and young adults
12	2425 号 (甲 1586 号)	鈴木真理子	Recovery of sedation and psychomotor and equilibrium functions following remimazolam anesthesia with or without flumazenil
13	2426 号 (甲 1587 号)	小島健太郎	Effects of tenascin-C on dental pulp tissue in vivo and proliferation, differentiation into odontoblasts, and calcification of dental pulp stem cells in vitro.
14	2427 号 (甲 1588 号)	頼岡廣明	Structural characteristics of peri-implant jaw bone in immediate implant placement and loading using rat implant occlusal loading model
15	2428 号 (甲 1589 号)	芳村竜秀	Evaluation of willingness to eat and brain activities associated with food image recognition
16	2429 号 (甲 1590 号)	松元秀樹	Association of remaining teeth with Alzheimer's disease tau pathologies assessed by positron emission tomography
17	2430 号 (甲 1591 号)	伴野圭太	Influence of different undercut depths of clasp fabricated by selective laser melting on retentive force.
18	2431 号 (甲 1592 号)	大川敬介	Alveolar bone microstructure surrounding orthodontic anchor screws with plasma surface treatment in rat
19	2432 号 (甲 1593 号)	河野孝斉	Establishment of a Method for Subclassification of Large Extracellular Vesicles in Oral Fluid: Combined Protocol of Velocity Differentiation and Pattern Analysis
20	2433 号 (甲 1594 号)	古澤誉彰	6-(methylsulfinyl) hexyl isothiocyanate activates intracellular carbonic anhydrase

	学位記番号	氏名	学位論文題名
			dependent $\text{HCO}_3^-/\text{Ca}^{2+}$ transports independent TRPA1: an <i>in vitro</i> and <i>in vivo</i> study
21	2434 号 (甲 1595 号)	森 井 雅 子	The rs216009 single-nucleotide polymorphism of the <i>CACNA1C</i> gene is associated with phantom tooth pain
22	2435 号 (甲 1596 号)	上川床 俊 彦	Immunohistochemical studies on the early change of asporin in osteoarthritis of the temporomandibular joint model mice
23	2436 号 (甲 1597 号)	藤 井 亜理沙	Association of postoperative adverse events with low skeletal muscle mass measured from the 12th thoracic vertebral skeletal muscle mass in oral cancer patients.
24	2437 号 (甲 1598 号)	戸 村 拓 真	Effects of testosterone-derived 17 β -estradiol and dihydrotestosterone on temporomandibular joint for osteoarthritis
25	2438 号 (甲 1599 号)	村 松 賢太郎	Clinical evaluation of greater palatine artery hemodynamics in Le Fort I osteotomy
26	2439 号 (甲 1600 号)	山 本 悠太郎	Regeneration process of myotendinous junction injury induced by collagenase injection between Achilles tendon and soleus muscle in mice.
27	2440 号 (甲 1601 号)	岡 弘 貢	Subset of the periodontal ligament expressed leptin receptor contributes to part of hard tissue forming cells
28	2441 号 (甲 1602 号)	松 本 祐 介	Micro/Nano-Structural Characteristics of Osteoporotic Mandible Cortical Bone: A Cadaveric, Quantitative Analysis of Bone Mineral Density and Quality
29	2442 号 (甲 1603 号)	田 中 齊	Evaluation of the injured lingual nerve and surrounding tissues based on T2* relaxation time calculated with the modified Dixon method of short echo time magnetic resonance imaging
30	2443 号	豊 田 智 章	Identification of TPI1 as a potential therapeutic

	学位記番号	氏名	学位論文題名
	(甲 1604 号)		target in pancreatic cancer with dependency of TP53 mutation using multi-omics analysis
31	2444 号 (甲 1605 号)	秀 島 樹	<u>Germline and Somatic mutations of analysis of patients with delopmental odontogenic cyst by target gene panel</u>
32	2445 号 (甲 1606 号)	野 村 周 平	Age-related differences in side walls of maxillary first molar pulp cavities in Japanese using micro-computed tomography
33	2446 号 (甲 1607 号)	重 松 正 樹	Titanium wire implantation in alveolar mucosa induces weak inflammatory responses but does not promote substantial T cell activation: Results from a pre-clinical study.
34	2447 号 (甲 1608 号)	都 合 晋 司	Effect of vinyl acetate, glass fibers contents, and buffer space on EVA's mechanical property and shock absorption ability
35	2448 号 (甲 1609 号)	中 野 岳 志	Butylboronic acid promotes cell proliferation, alkaline phosphatase activity, and expression of <i>GJA1</i> , <i>ALP</i> , and <i>NaBC1</i> in human dental pulp cells <i>in vitro</i> .
36	2449 号 (甲 1610 号)	小 林 裕	Influence of molding angle on the trueness and defects of removable partial denture frameworks fabricated by selective laser melting

編集後記

新型コロナウイルスの流行の出口が垣間見え、実に4年ぶりに学部卒業式との合同開催ができました。懐かしいなと感じたのは、私だけでしょうか。今年度の修了者は、大学院生活の大半の時間を新型コロナウイルスの流行に振り回され、研究遂行にはあらゆる困難があったと思います。逆に考えれば、このような稀有な経験は、人生にとって貴重かもしれません。36人の修了者が成し遂げた36の知見は人類の共有財産となり、永遠に保存されることでしょう。修了者の諸君、当大学院で得たことを誇りとして、歯科

医師として、また研究者として、使命感を持った一流の人物になっていかれることを期待しています。(福田 記)